

# 一位ヶ岳

学校だより 令和3年度6月号  
長門市立**俵山**小学校

＜チャレンジ目標＞地域に私たちの元気を届けよう 何ごとにもチャレンジしよう

## 第17代子ども歌舞伎初披露

5月9日(日)の家族参観日において、**第17代子ども歌舞伎**の初公演を行いました。

2月から、俵山女歌舞伎保存会のみなさまのご指導・ご支援のもと、稽古を重ねてまいりました。長い台詞や口上を覚えるのはもちろんのこと、細かい表情や所作まで一人ひとりが熱心に研究し演じました。

公演当日は、朝から緊張感いっぱいでしたが、児童たちは周囲を気遣いつつも自分の持てる力を精いっぱいに出し切った一日となりました。



多くの皆様にご覧いただきありがとうございました。コロナ禍の折、保護者の皆様を中心とした披露とさせていただきました。ご理解ください。次回は秋に行います。よろしくお願いいたします。

俵山女歌舞伎保存会の皆様と一っしょに記念撮影

# 俵山小がめざす授業

令和3年度の教員の研究主題を「一人ひとりの主体的な学びを支援する授業の創造 ～自分ごととして考え、進んで伝え合う場の工夫～」としました。

本校児童の課題として、自己有用感や、他者との関わりが比較的不足していると思われる。このことから、まずは学習や物事を自分のこととしてとらえ、人に伝えることで表現力を育み、伝え合う子ども・自ら学ぼうとする子どもを理想としながら、授業を組み立てていくように研修を進めていきます。本校の特徴でもある、複式教育、少人数教育を生かしながら場の設定を工夫し、研究主題にせまっています。一方で、本校では、「子ども歌舞伎」をはじめとして、「水田耕作」「つけボランティア」「読み聞かせボランティア」「学校ささえ隊」「朝の見守り・あいさつ活動」「花壇の水やり」など、毎日のように地域の方が学校に協力していただいています。このような地域と連携した教育活動を行うことで、子どもたちがふるさとを愛し、あいさつでつながる元気な子になるように願っています。

そして、チャレンジ目標の1つ「地域に私たちの元気を届けよう」をめざしていきます。



学力向上推進リーダーによる授業参観



一人1台端末（PC）の活用



水田耕作（苗床の管理）

## 6月の詩

出典：金子みすゞ全集  
JULIA出版局

つゆ  
金子みすゞ  
だれにもいわずにおきましょう。  
朝のお庭のすみついで、  
花がほろりとないたこと。  
もしもうわさがひろがつて  
はちのお耳へはいったら、  
わるいことでもしたように、  
みつをかえしにゆくでしょう。

俵山小学校  
ホームページへ  
アクセス！ →



日本の季節は、天気の特徴から考えると、春、梅雨、夏、秋雨、冬となります。長く雨が降る時期のある日本だからこそこんな詩が生まれるのかも知れません。

今年の梅雨は例年よりも早く始まってしまいました。暑すぎる夏や寒すぎる冬にならなければよいのですが・・・。